

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	小学校校舎等建設事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	02	01	09	51
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	教育総務課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	長橋 祐之				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小学校児童及び教職員	意図	学級数の増加に対応した校舎の建設
事業内容	・学級数の増加に伴い、既存施設では対応できない学校における校舎の増築			
事業開始から現在までの状況変化	・つくばエクスプレス沿線の開発に伴い児童数が増加している。児童推計からも児童数が増加する傾向にあるため、児童推計を注視し校舎建設時期を見極め建設を実施する。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		増築教室数	12	0	4	室	
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・児童推計は学校教育課が実施する児童の動態調査に依存。 ・つくばエクスプレス沿線開発地区は、児童動態の変化が急激で、施設設置計画の立案に苦慮している。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		310,087,673		119,013,266			
事業費(b)(円)		301,458,975		112,104,000			
うち一般財源		68,032,975		9,525,000			
職員給与費(c)(円)		8,628,698		6,909,266			
人役・職員(人)		1.16		1.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.29					
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					
					コストの削減	B 削減の余地がややある

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H26)の改善計画	工事費のコスト削減に努める。
今年度(H26)に実施した取り組み	校舎増築工事及び校舎増築設計業務委託（継続）を実施した。

取り組みの課題	児童・生徒が増加することに対する教室の確保。
今後の改善計画	児童・生徒推計を注視して、計画的に学校校舎増築工事を実施する。